

事業計画書

1. 申請者の概要

団体名	箕面商工会議所
代表者職・氏名	会頭 小枝 正幸
所在地	〒562-0003 箕面市西小路3-2-30
担当者職・氏名	中小企業振興課長 西川 泰弘
連絡先電話番号	072-721-1300
連絡先メールアドレス	info@minohcci.or.jp

事業名		箕面スモールビジネス伴走型創業支援事業	事業番号	1
事業の概要	事業概要	身の丈創業、週末起業、ひとり起業を目指す個人や、事業の本格的な実施をめざす個人を対象とし、経営知識の習得や事業計画策定の伴奏支援に加え、テーマ別の「先輩起業家との交流会」を開催する。伴走支援や経験者との対話を通じて、事業化を加速させて持続可能な経営を目指す。		
	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	現状・課題：子育て世代が多く居住するベッドタウンという地域のため、身の丈創業やひとり創業などの創業希望者は多いものの、いざ実践となると「孤独」や「具体的なノウハウ不足」に直面し、最初の一步を踏み出せない、あるいは早期に断念するケースが多い。 目指す状態：伴走型創業支援に加え、交流会を通じて「生の声」に触れる機会を提供し、同様のハードルを乗り越えた先輩起業家から学ぶことで、参加者が事業化に向けて自信を持ち、さらに地域内で支え合えるネットワークが構築されている状態を目指す。 ニーズ：体系的な知識だけでなく、現場のリアルな苦労話や解決策を知りたいというニーズや、創業前後の不安を共有できるコミュニティへの参加欲求が非常に高い。 把握方法：過去の創業塾参加者からのアンケート、箕面市創業支援制度等の個別面談を通じた聞き取り、および創業相談窓口寄せられる相談内容から把握した。		
	支援する対象 (業種・事業所数等)	全業種（主に小売、サービス業等）、創業を目指す個人。特に身の丈創業、週末起業、ひとり起業などの子育て世代や若者世代をターゲットとする。		
これまでの取組状況 ※地域活性化事業からの振り替えて実施する事業の場合に記載すること。				
具体的な実施内容 ※いつ・どこで・何を・どのようにするのかを時系列順に明確に記載すること。 ※成果指標の実現に向けた取組が分かるように記載すること。		①創業はじめの一歩セミナー 時期：2026年6月（2時間×計2回開催） 内容：創業の心得、経営の基礎知識を解説し、国や大阪府、箕面市・箕面商工会議所の支援メニューを紹介する。 方法：定員25名のセミナーを計2回、対面形式で実施する。セミナー内で事業計画書の重要性を説明し、次ステップの「伴走型ハンズオン支援」への参加を促すことで、年度内の創業に向けたスタートダッシュを後押しする。 ②伴走型ハンズオン支援：計画策定及び実行支援 時期：2026年6月～2027年2月 内容：経営指導員等が個別に伴走し、事業計画書の作成支援から、実行段階での具体的な課題解決（集客、収支管理等）までを一貫して行う。 方法：対象者40名に対し、マンツーマンのハンズオン形式で指導を継続する。計画策定、実務の進捗に合わせた軌道修正や専門的なアドバイスを実施する。長期的な伴走により開業や法人設立といった段階へスムーズに移行できるよう支援を行う。 ③先輩起業家等との交流会 時期：2026年8月～2027年3月 内容：起業家ネットワークへの参画を通じ、孤立防止と地域内連携の強化を図る。 方法：各10名規模の交流機会を複数回設ける。 先輩経営者や同じ創業者と交流することで創業準備期における不安や孤立感を解消し、開業への後押しとなる。		
事業分野		スモールビジネス支援		
主な事業の目標	総支援対象企業数	設定根拠及び募集方法⇒	過去の支援実績と潜在ニーズに基づき計120名を設定する。6月のセミナーで50名を確保し、うち40名へ計画策定から実行まで伴走支援を継続することで、KPIの15名創業を確実に達成する。募集は市の広報誌、SNS広告、HP、チラシ配架等で行う。	
	成果指標	代表指標	創業者数	数値目標 15 者
	その他目標値	目標値の内容⇒	者	

	⇒	積算単価		支援企業数		係数		補助対象事業費		
		事業の運営経費 算定基準 (行が足りない場合は、⇒の行に挿入)	20,200	円 ×	50	者 ×	1.00	=	1,010,000	円
	101,000	円 ×	40	者 ×	1.00	=	4,040,000	円		
	40,400	円 ×	30	者 ×	1.00	=	1,212,000	円		
		円 ×		者 ×		=		円		
		円 ×		者 ×		=		円		
			計	120 者		(小計)	6,262,000			
	⇒	積算単価		支援企業数		係数		補助対象事業費		
		個別支援に要する経費 算定基準 (行が足りない場合は、⇒の行に挿入)		円 ×		者 ×		=		円
			円 ×		者 ×		=		円	
			円 ×		者 ×		=		円	
			円 ×		者 ×		=		円	
			計		者		(小計)		円	
補助対象事業費 計							計	6,262,000	円	
算出額	受益者負担		円		受益者負担額の積算					
	補助対象事業費		補助率			(受益者負担)				
	6,262,000	円 ×	1.00	=	6,262,000	円	(円)			
補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体またはヒアリングで説明する代表団体に○)	代	商工会・会議所名		配分額		支援企業数	役割 (配分の考え方)			
	○	箕面商工会議所		6,262,000 円		120				
				円						
				円						
				円						

別紙：積算根拠となる支援対象企業数と支援対象企業の変化について

事業の目標①	支援対象企業数の合計	設定根拠及び募集方法⇒ 50 者	過去の創業支援実績や既存事業への高い需要に基づき、定員25名のセミナーを計2回開催することで、合計50名の目標を設定する。市の広報誌、会議所ホームページ、SNS広告を戦略的に運用する。また、窓口や市の施設でのチラシ配架や個別案内を徹底し、幅広い層から参加者を募る。			
	支援対象企業の変化	指標	創業に対する意欲が受講前と比較して前進した者の数	数値目標	40	者
	その他目標値	目標値の内容⇒				
事業の目標②	支援対象企業数の合計	設定根拠及び募集方法⇒ 40 者	前述のセミナー参加者50名のうち、具体的な事業化を希望する約8割にあたる40名を目標とする。過去の支援実績において、初期段階のセミナー受講者の多くが事業計画策定を希望する傾向に基づいた設定である。セミナー内での直接的な誘導に加え、市の広報誌、会議所ホームページ、SNS広告を戦略的に活用する。また、窓口でのチラシ配架や既存の相談案件からの掘り起こしを行い、参加者を募る。			
	支援対象企業の変化	指標	事業計画書を策定した者の数	数値目標	40	者
	その他目標値	目標値の内容⇒				
事業の目標③	支援対象企業数の合計	設定根拠及び募集方法⇒ 30 者	密度の高い意見交換が可能な規模として各回10名計30名を目標に設定する。伴走型ハンズオン支援の対象者40名への直接勧誘を主軸としつつ、市広報やSNS、ホームページ、チラシ配架等の多角的な媒体を通じて、先輩起業家との交流による不安解消や意欲維持を求める層を幅広く募ることで、最終的な目標である創業数の確実な達成を下支えする。			
	支援対象企業の変化	指標	先輩起業家との交流により、創業・経営に対する意欲が維持・向上した数	数値目標	20	者
	その他目標値	目標値の内容⇒				

【備考】

--

※別添で補足する内容があれば添付してください。

事業名		箕面「クリエイター」共創ブランド強化支援	事業番号	2
事業の概要	事業概要	市内事業者を中心にクリエイティブ活用促進（クリエイターとのマッチング希望事業者の発掘を含む）と事業者のクリエイティブ課題の実践的解決の支援（講義形式によるクリエイターとの課題の理解・共有、マッチング機会の提供）を重点的に行う。		
	事業の目的 （現状や課題をどのような状態にしたいか） 企業ニーズ （内容・把握方法等）	<p>【現状・課題】</p> <p>中小零細事業者が淘汰される厳しい景況下において、他社との差別化を図るために、自社の競争力強化や販売力、広報力の向上が求められている。しかし、「デザイナーなどクリエイターに業務相談や発注してみたいけど、誰にどのように相談すれば良いのかわからない」という声も多く見受けられる。そこで本事業では、市内事業者に対してクリエイティブ活用を促し、自社商品・サービスの開発に寄与することで経営の付加価値向上に繋げる。さらに、クリエイティブ課題の実践的な解決支援を行う中で、デザインサービスを売り込みたいクリエイター等に対して、商談の機会を提供しクリエイター等の育成支援につなげる。</p> <p>【企業ニーズ】</p> <p>厳しい競争社会で生き残るためにも、中小企業・小規模事業者にとって、デザイン活用およびブランド構築によって高付加価値化を支援する意義は大きく、一定のニーズがあると考えられる。日常的な相談やセミナーアンケート等において、デザイン活用に関する要望が見受けられた。</p>		
	支援する対象 （業種・事業所数等）	業種を問わず、広報力強化や付加価値向上を図りたい中小企業・小規模事業者、従業員（商品企画・マーケティング・デザイン・開発担当者等）、創業予定者等、デザイン関連事業者（クリエイター、カメラマン、ライター等）		
これまでの取組状況 ※地域活性化事業からの振り替えて実施する事業の場合に記載すること。				
具体的な実施内容 ※いつ・どこで・何を・どのようにするのかを時系列順に明確に記載すること。 ※成果指標の実現に向けた取組が分かるように記載すること。		<p>①クリエイター向け共創セミナー（仮） 時期・場所：2026年8月・箕面商工会議所またはオンライン 内容・方法：市内および近隣のクリエイター20社を対象に、課題解決型の視点をレクチャーする。参加したクリエイターに向けて③のマッチング交流会への参加を誘導する。</p> <p>②事業者向けクリエイティブ活用セミナー（仮） 時期・場所：2026年8月・箕面商工会議所 内容・方法：ブランド刷新や情報発信に課題を持つ事業者10社を対象に、クリエイター活用の成功事例共有や効果的な発注ノウハウをレクチャーする。参加した事業者に向けて③のマッチング交流会への参加を誘導する。</p> <p>③共創マッチング交流会 時期・場所：2026年9月～2027年2月1回を予定・箕面商工会議所 内容・方法：各セミナー受講者を中心とした30社（クリエイター20社・事業者10社）による、顔の見えるマッチングセッションを実施する。事業者1社に対し複数の専門家が対話できる環境を整え、名刺交換や課題解決に向けた商談を行う。</p>		
事業分野		クリエイター活用促進		
主な事業の目標	総支援対象企業数	設定根拠及び募集方法⇒	選択肢の多様性と成約率を重視し計60社を設定した。動画やWeb等各分野のクリエイター20社に対し、事業者10社を設定。（近隣の商工会議所の同事業の数字を参照）募集は、チラシ、当所会報、DM、ホームページ等にて行う。また、経営指導員による個別支援時に積極的に声掛けを実施する予定。	
	成果指標	代表指標	異業種とのマッチングによりビジネスが拡大した事業者数	数値目標 7 社
	その他目標値	目標値の内容⇒	社	

		積算単価		支援企業数		係数		補助対象事業費		
事業の運営経費 算定基準 (行が足りない場合は、⇒の行に挿入)	⇒	20,200	円 ×	20	社 ×	1.00	=	404,000	円	
		20,200	円 ×	10	社 ×	1.00	=	202,000	円	
		40,400	円 ×	30	社 ×	1.00	=	1,212,000	円	
			円 ×		社 ×		=		円	
				円 ×		社 ×		=		円
			計	60	社	(小計)		1,818,000		
個別支援に要する経費 算定基準 (行が足りない場合は、⇒の行に挿入)	⇒		円 ×		社 ×		=		円	
			円 ×		社 ×		=		円	
			円 ×		社 ×		=		円	
			円 ×		社 ×		=		円	
				計		社	(小計)			円
補助対象事業費 計								計	1,818,000	円
算出額	受益者負担		円		受益者負担額の積算					
	補助対象事業費		補助率		(受益者負担)					
	1,818,000	円 ×	1.00	=	1,818,000	円	(円)		
補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体またはヒアリングで説明する代表団体に○)	代	商工会・会議所名		配分額		支援企業数	役割(配分の考え方)			
	○	箕面商工会議所		1,818,000 円		60				
				円						
				円						
				円						

別紙：積算根拠となる支援対象企業数と支援対象企業の変化について

事業の目標①	支援対象企業数の合計	設定根拠及び募集方法⇒	会議所に登録している専門家数より20社を設定した。募集はチラシ、当所会報、DM、ホームページ等にて行う。また、SNSや既存の専門家ネットワークを活用して公募する。			
	支援対象企業の変化	指標	セミナーで得た知識・ノウハウを今後活用したい事業者の割合	数値目標	80	%
	その他目標値	目標値の内容⇒				
事業の目標②	支援対象企業数の合計	設定根拠及び募集方法⇒	過去開催したセミナーや商談会などを参考に10社を設定した。募集はチラシ、当所会報、DM、ホームページ等にて行う。			
	支援対象企業の変化	指標	セミナーで得た知識・ノウハウを今後活用したい事業者の割合	数値目標	80	%
	その他目標値	目標値の内容⇒				
事業の目標③	支援対象企業数の合計	設定根拠及び募集方法⇒	クリエイター20社、事業者10社の計30社で実施する。顔の見える関係性を築くことで、マッチング後の具体的なビジネス拡大を促す。各セミナー受講者に誘導する。対面での深い対話を通じた信頼関係構築を重視し、参加満足度80%以上を目標に、実効性の高いマッチング環境を提供する。			
	支援対象企業の変化	指標	異業種とのマッチングによりビジネスが拡大した事業者数	数値目標	7	社
	その他目標値	目標値の内容⇒				

【備考】

※別添で補足する内容があれば添付してください。